

「バケツ稻」家で育てて

GW三島

ゆめみしま 元産米 PRへ苗セット販売

GW三島が販売している
「ゆめみしま」のバケツ稻

への応募も提案している。

同NPOの渡辺豊博

専務は「健康への关心を高め、食べ物の大切さを理解させる食育の教材としても活用できる」と話している。販売締め切りは30日(延長も検討中)。問い合わせは、同NPOへ。

55(983)013

6>へ。

ルしている。また、一般社団法人・農山漁村文化協会が主催する

「バケツイネ選手権」

1セット千円。

NPO法人グラウンドワーク三島(GW三島)は、三島産米「ゆめみしま」(10月中旬発売予定)の「バケツ稻」の販売を始めた。自宅で手軽に1本の苗を育てるセットで、市民らへのPRを目指す。

同米は、「世界かんがい施設遺産・世界水遺産」に登録された農業用水路・源兵衛川の清流で育つ地元米で、3月に農林水産省の銘柄米として登録された。

バケツ稻は、初栽培を記念した試み。通常の大きさの土入りバケ

ツで、付属の肥料を使う。順調に成長すれば、苗1本で約2万粒(どんぶり1杯分)収穫できるという。

同NPOでは、主食の米ができる過程や農家の工夫、努力などを子どもたちに知つてもらう機会としてもアピー